

「小樽市総合体育館長寿命化計画(案)」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

1 意見等の提出者数	52	人
2 意見等の件数	138	件
3 上記2のうち計画等の案を修正した件数	2	件

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	体育館でどのようなことがしたいのか、誰をターゲットにしたいのかがはっきりしない。「全道大会を維持しつつ市民の健康増進」とあるが、競技人口の多い種目の全道大会開催に耐えうるハードになっているか。	<p>新総合体育館は、市内におけるスポーツ施設の中核施設として、市民のスポーツ振興と健康増進に寄与するものであり、各競技の大会会場としても利用されるものです。</p> <p>市民がいつでも気軽に利用でき、一人でも誰とでも、年齢を問わず生涯にわたって様々な運動を楽しむことのできる多目的空間として、市民が子供からお年寄りまで、集い、ふれあい、つながることのできる交流空間として、災害時には多くの市民を受け入れ、安全かつ快適な避難生活を送ることのできる安心・安全空間として、主に市民の皆さまにご利用いただくことを想定しております。</p> <p>新総合体育館は、バスケットボールコート3面相当を1階に配置することで、概ね各競技の全道大会に対応できる規模を維持しておりますので、これと同等の規模のプロスポーツの試合等の開催は可能と考えております。</p>
2	体育館の商用利用(プロスポーツの開催)は考えていないのか。	
3	スポーツ振興、教育、健康増進といった市民生活の向上に広く寄与する施設であってほしい。	
4	全道大会でなくとも、全後志くらいの大会ができる体育館にするべき。	
5	災害時避難所としての役割は大きいと思う。	
6	現時点での体育館諸室の時間帯別利用率と専用利用率を用いて適正配置・適正規模を検討しているが、施設が老朽化しているので利用率が低いのではないか。本来の機能が十分であればどのくらい利用したいかのアンケートをとったほうが良いと思う。	新総合体育館の基本構想策定にあたり、市民アンケートを実施する考えです。
7	市が現在活用可能としている財源だけでは心許なく感じるので、関心のある人が寄付などを通して施設運営に参加できたり、ふるさと納税のように返礼品を受け取ったりできる仕組みをつくれぬか。	ご提案のあったふるさと納税制度の活用や、活用が可能な補助金等について引き続き研究・検討していくとともに、建設コストの削減に努めてまいります。
8	PFI手法の活用を検討しているが、それだと完成まで時間がさらにかかってしまうため、一日も早く安心してスポーツができるよう速やかに完成させてほしい。	<p>基本計画策定段階～設計段階において利用者数の推計や、適正な利用料金の設定、運営方法などの検討を行うことにより、総合体育館の規模やランニングコストの適正化を図ってまいりたいと考えております。</p>
9	総合体育館の収益性(歳入と歳出の差)を改善するために、ライフサイクルコストを削減することについて留意しているのは理解できるが、利用者拡大、利用率(稼働率)拡大、料金収入の拡大に関する現状分析と考察が抜けている。	
10	コストの面が課題であり、体育館は小樽市内に十分あるので計画を中止するべき。	
11	市民サービスを第一義とした場合、膨大な時間とコストをかけて議論し続けることは得策ではないので、スピード感をもって現実的な課題解決を望む。	市民の皆さまからご意見をいただきながら、スピード感をもって取り組んでまいりたいと考えております。

No.	意見等の概要	市の考え方等	
12	新総合体育館の標準機能としてICTを活用した入退室管理機能(マイナンバーカード活用を前提)、施設予約機能、キャッシュレスを実現する利用料金管理機能などが具備されているか。	<p>各室のレイアウト・動線・広さ・設備・備品等につきましては、新総合体育館の基本計画策定段階～設計段階において検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、ユニバーサルデザインを推進するとともに、省エネルギー化及び再生可能エネルギーの導入については、光熱水費の削減や環境への配慮の観点から検討してまいりたいと考えております。</p>	
13	ユニバーサルデザインの推進について、海外からの観光客の利用などを見据えて国際的に規格化された標準案内記号ピストグラムを導入、看板類のローマ字表記を英語表記に切り替える等の配慮も必要であり、本計画に反映してほしい。		
14	市民の健康寿命の延伸を新総合体育館の機能として設置していることから、利用者の健康寿命が本当に延伸したかどうかを把握できる情報システムが必要と考える。本事業費に対応するシステムの構築・維持費を計上すべきである。		
15	武道専用室(武道室)を設けてほしい。具体的には、試合場が最低二面とれる広さがあって、稽古もできて床に適度な柔らかさがある部屋がいい。備品庫や姿鏡も設置してほしい。格技には武道のほかボクシングやレスリングなども含まれ、シューズを履いた競技は床を傷めるので、使用目的を「武道」に限定してほしい。【4件】		
16	運動習慣改善のためには、運動施設までのアクセスや日常生活の見直しをした方がよい。買い物など日常生活の中での運動をするようにしたうえで更に運動増進をするためのものとして体育館があるのが理想的である。市民が気軽に来なくなる休憩室のようなスペースが1階にあること(高齢者が階段やエレベーターを使わなくてもいいように)、アプローチにも運動に活用できる仕組があるとよい。		
17	幼児室と休憩スペースが離れていると使いにくいように思う。		
18	障害者用駐車スペースがほしい。		
19	プライバシー保護の観点から間仕切りのできる災害資材のストックも検討してほしい。		
20	省エネ・バリアフリー・ユニバーサルデザインは、利用者増にも寄与するしこれからの施設には必須である。		
21	駐車場は現状小さすぎるので大きくしてほしい。また、再生可能エネルギーをできるだけ導入するため、駐車場の上には太陽光パネルを設置してほしい。		
22	新設するランニングコースにおいてウォーキングやジョギングが可能と理解するが、良いか。		<p>いただいたご意見につきましては、今後の検討にあたって参考とさせていただきます。</p>
23	送迎バスがあると冬場助かる。		

No.	意見等の概要	市の考え方等
24	仮にプールを設置するとすれば中心部ではなく、近隣にプールのない塩谷・オタモイ・忍路・蘭島ではないか。	<p>体育館と併設することで、屋内でできるスポーツ機能が集約され、体育室やトレーニング室の利用者が、トレーニングの一環として水泳を取り入れるなど、利用者が相互に利用しやすくなることが期待できるところです。</p> <p>水泳、ウォーキング、トレーニングなど、個人でもできるスポーツ環境を整備することは、市民のスポーツ振興と健康増進に寄与するものと考えております。</p> <p>特にプールの中での運動には、浮力、水圧、水温、水流の作用により身体機能の向上がもたらされ、リウマチや腰・膝・股関節疾患がある方のリハビリのほか、呼吸機能の改善や生活習慣病の改善などさまざまな効用があることが知られております。</p> <p>また、北海道内の人口10万人以上都市でも、民間のスポーツクラブ等が運営する温水プールのほかに、市民が比較的安価な料金で使用できる市営の温水プールを有しているところであり、市民が利用しやすいよう配慮し、市内中心部に位置する旧緑小学校跡地において、総合体育館にプールを併設する形で整備したいと考えております。</p> <p>新総合体育館ならびにプール室は、建設後80年にわたり供用することを想定していることから、現役世代の皆さまも利用者や受益者となり得るものと考えておりますが、基本計画策定段階～設計段階において利用者数の推計や、適正な利用料金の設定、運営方法などの検討を行うことにより、総合体育館の規模やランニングコストの適正化を図ってまいります。</p>
25	プール設置の可否について住民投票を行うべきではないか。	
26	総合体育館を建て直す必要性は感じるが、プールを併設する意義が全く感じられない。なぜプールを併設しないモデルが示されないのか疑問である。	
27	プールは障害者や高齢者がリハビリや健康増進目的で使えるようにしてほしい。【3件】	
28	プールについて、スポーツ協会加盟団体等からは利用者の確実な確保・拡大に関するコミットメントを取得しているのか。	
29	高齢者、障がい者、子どもたちが利用しやすいプールにしてほしい。【4件】	
30	プールについて、早期建設を希望する。【6件】	
31	プールの有無が健康にどれくらい寄与するのか、数値で示せないから否定するという意見には賛同できない。運動による健康増進は明らかである。水泳や水中ウォーキングは腰や関節への負担が少ないため高齢者でもでき、健康寿命が延びれば医療費の削減にもつながるのでプールは必要。	
32	プールを建設したいのならば、スポーツ協会加盟団体の今後の方向性や活動計画を提示したうえで公に承認・理解される必要がある。	
33	市内には民間プールを含めて温水プールが4か所あるため、市民の健康増進のためであれば現状で充足しており、市がプールを新たに設置することで民業圧迫となる。【2件】	
34	過疎債を使ったとしても3割は小樽市の支出であり、建設費や水道料金も含めたプールの維持費を長きにわたって負担させられるのは若い現役世代であり、あってはならないことだと考える。【4件】	
35	プール機能の設置が長年懸案のままであった理由には厳しい財政状況における投資の可能性と収益性があったと認識する。本計画においてはこの二つの視点が抜けている。プール機能を含む体育館の利用頻度が少ない市民にとっては、本事業による他の行政サービスへの影響及び収益性(歳入と歳出の差)を数値で示して欲しいと強く要望しているはず。本計画への反映を強く希望する。	
36	市内には民間プールが3か所あるから市有施設としては不要との意見があるが、民間は利益が出なければ料金を上げたり撤退したりする。安価に市民に運動できる機会を提供するプールを含む総合体育館は、必ず小樽のまちづくりや人口減少対策に役立つ。	
37	将来負債になるプールは断固反対。その分の予算や場所を他の事業に使うしてほしい。【14件】	
38	体育館は必要と感じるが、プールは市内3か所で15年間日常的に利用出来てきたので、早期の建設の必要性を感じない。それよりも既存施設を公認施設として利用した方が地区が分散するし、コスト的にもオペレーション的にも有益だと思う。	
39	子育て世代からすると学校の予算不足が本当に悲惨です。プールを作るなら小樽市から転居します。	

No.	意見等の概要	市の考え方等	
40	プールを新たに作るよりも民間プールに委託や補助をした方が安く済むのではないかと。【2件】	民間プールへの委託については、利用できる曜日や時間帯の制限や、会員と比べた施設利用の制約などがあることから、市民の皆さまの利用拡大について限界があるものと考えております。	
41	公認プールを希望する。【16件】	プールの公認取得につきましては、開催する大会の回数、運営方法なども含め、今後、利用団体等からのご意見なども踏まえながら、基本構想・基本計画の策定過程において検討してまいりたいと考えております。	
42	プールは7レーン以上ほしい。【3件】		
43	施設維持経費の財源確保の観点からも、収益を見込める大会を開催できる施設にした方がよく、そのためには公認の取得は必須に思う。後で必要性が生じて無駄なコストをかけて改修するような事態があってはならない。		
44	全自動計時、着順装置等は必要であるとする。【8件】		
45	体育室は地区大会・全道大会を開催できる規模を維持するところがあるが、プール設備についてどういう状況なのか不明。公認／非公認と合わせて適切な表現にすべき。		
46	プールについて、試算モデル①の案がいい。【5件】		
47	25mプールで大会が開催できればよい。		
48	大会関係者が観光をして経済効果があると思うので公式大会が開けるようにしてほしい。【3件】		
49	プールには入退水用のスロープを設置してほしい。【12件】		プール室のレイアウト・動線・広さ・設備・備品等につきましては、新総合体育館の基本計画策定段階～設計段階において検討してまいりたいと考えております。
50	採暖室があると冬場は体が温まってよい。		
51	水中ウォークができるようにしてほしい。【5件】		
52	障害者などが利用しやすいよう、更衣室やシャワー室などは広くしてほしい。設備(シャワーやトイレなど)も多めにとってほしい。【2件】		
53	幼児・児童用プールの設置を希望する。【3件】		
54	プールの更衣室には車椅子や肢体不自由の人が使いやすいように椅子、カーテンの仕切り、手すり(トイレにも)を備え付け、ドライヤーと脱水機も置いてほしい。		
55	ミーティングもできるような休憩室がほしい。		
56	プール内に観覧席がほしい。【2件】		
57	多くの市民などに本計画を周知徹底させる必要から、本計画を策定している部署と連絡先(電話番号、メールアドレス)などは表紙あるいは最終頁などに記載すべきである。	ご指摘を踏まえて修正いたします。	
58	スポーツ協会加盟団体等の意向について、主な事項を記載してほしい。		